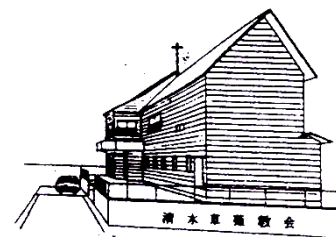


《今朝の聖書から》今朝は、“豊かさ”ということについて振り返ってみましょう。私たちは、豊かということ、他より豊かとか、他より物持ちであるというような言い方で用います。昔より豊かになったとか、これからは豊かになる道筋ばかりを、かつてのようにたどるわけではない、などと時間的な比較でも用います。教会の交わりの中で、このような比較における豊かさを、優越感や劣等感に思ったりしてはいけません。なぜなら聖書の約束は、このような、“豊かでないこと”に対する豊かさではなく、貧しさの裏返しとしての豊かさではなく、絶対的な、失うことのない“主とともにある、恵みのもたらす豊かさ”だからです。けれども私たちは、主に与えられたビジョンに向かって、目的を見すえ、それを得るための努力の大切さも聖書から教えられています。それは訓練の道でもあります。訓練によって私たちは、本当の目的は何かを見出すこともできるのです。イスラエルの人たちは、まだ見てはいませんでした。神様が約束してくださった“良い地”に進み行くことにありました（申命記3：25など）。モーゼの申命記における説教には、葡萄畑や、麦畑の教えが沢山出てきます（申命記6：11, 8：8など）。私たちはその畑のことを知っていますから、何気なく読み進めてしまいがちですが、この時に至るまで、イスラエル人は、寄留の民であったし、奴隷の身分でありましたし、砂漠をさすらう歴史を刻んでいました。土地の所有もしていませんでしたし、荒野では葡萄畑などありませんでした。マナをもって食料として、神様に導かれていたのです。しかし神様は“良い地を目指せ”と教えてくださり、それを手に入れ、管理しなければならなくなった時に“しなければならぬこと”を訓練としてなされているのです。“豊かになった人々は、それが良いものであればあるほど、しっかりしていなければならない”ということでしょう。何のために良いものを手に入れるのか、良いものを目指すのか、今も神様は、私たちに問いかけておいでのなるのではないのでしょうか。使い方を誤る人が、強い力を持った時の悲劇についてはよく知っていることです。私たちの教会も神様から、豊かなものになることを約束されています。しかしその財産と力を、何に用いさせていただくかが問題なのです。“今捧げものをしました。この献金を神様の御用のためにお用いください”と願い、毎週祈っているのは、実にこの豊かさへの訓練を私たちが、主からされていることを忘れないようにしましょう。

週報

2008年 2月 3日



主イエスを信じなさい。そうしたら、あなたもあなたの家族も救われます。

使徒行伝16：31

日本フリーメソジスト

清水草薙キリスト教会

教会学校	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル一会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈祷会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	http://kusanagi.church.jp/	

T 424-0885

静岡市清水区草薙杉道3丁目2-26

☎054-345-4070 E-Mail grace@big.jp

牧師 村上定幸